



相見小学校だより

宝達志水町立相見小学校
校長 坂井 雪絵

めざす児童像：自ら学びとる子 思いやりのある子 自ら鍛える元気な子

目標に向かって

10月25日(金)に行われるマラソン大会にむけた練習がスタートしました。走ることが得意な子もいれば、苦手な子もいるでしょう。人と比べるのではなく、昨日の自分を超越することが大切です。一人一人が自分の目標に向かって、コツコツと努力を積み重ねてほしいと思います。

「目標に向かって努力できること」は、何にも勝る力です。マラソン練習は、そんな体験ができる成長の機会なので、子供たちへの励ましをお願いします。

地域の先生ありがとう

9月18日(水)には、3年生、5年生、6年生が地域の方にお世話になりました。

3年生は、社会科のスーパーマーケットの工夫の学習で「Max Value 羽咋店」へ伺いました。店長さんや店員の方に質問をしたり、バックヤードを見せていただいたりして、スーパーマーケットがお客さんに喜んで買い物をしてもらうための工夫をたくさん見つけることができました。



5年生は、5月に植えたコシヒカリの稲を刈る体験をしました。学校ボランティアの山田礼二さんが、田植えの後もお世話くださり、稲にはたくさんのお米が実っています。5年生は、上手に鎌で刈った後、束ねてフェンスにかけました。作業の後、「普段食べているお米がこんなに大変な作業のおかげだとわかり感謝したい」などの感想が、聞かれました。

6年生は、社会科の学習の発展として、末森城の合戦について学校支援ボランティアの長田和樹さんから詳しく教えていただきました。少数だった前田軍が佐々成政の大軍を破った話に子供たちは興味津々でした。

地域の方々のご協力のおかげで、貴重な体験をすることができました。ありがとうございました。



学年の枠を超えて

9月19日(木)には、「縦割り班遊び」が行われました。6年生が全校児童の絆が深まる楽しいゲームとして、「じゃんけんビンゴ」を企画しました。高学年と低学年がペアになり、じゃんけんや質問をしながらビンゴを目指します。手を繋ぎうれしそうな低学年と優しく気遣う高学年の姿や一緒に喜び合うペアの姿が見られました。



9月20日(金)25日(水)には、体育委員会主催の「得意技紹介」が行われました。昼休みに自分の得意技をいろんな学年の人に見てもらおうことで、積極性や自信をつけようという企画です。キャッチボールやフリースロー、マット運動、ダンス、歌、ピアノなど、1~6年生、教員も参加し、堂々と得意技を披露する姿に、大きな拍手が送られていました。見ている子供たちの中には、「次は、自分も出たい!」という声が多数ありました。



ひまわり元気に咲きました

本校の玄関前の花壇には毎年たくさんのひまわりの花が咲き、相見小学校を訪れる人の目を楽しませてくれていました。改修工事で現在、玄関前花壇はありませんが、ひまわりは、**用務員の元女さんが運動場花壇に植え替え**世話を続けてくれました。夏休みには教職員も順番に水やりをしました。明るく元気に咲き誇り、**運動場で遊ぶ子供たちを見守ってくれました。**

